

いそファミ通信



2016. 6月号

湿度が高く蒸し暑い時期になりました。6月4日からこの地方も梅雨入りになりました。

梅雨の時期に悪化しやすい病気の一つに神経痛があります。その原因は気圧と湿度の大きな変化によるものです。

神経痛とは

特定の末梢神経に、発作性、反復性に痛みがあることを、神経痛と呼びます。痛みは、針で刺されたような鋭い痛みで、不規則な間隔で繰り返しが起こりますが、長時間持続することはありません。

神経痛の原因

原因が不明な特発性の神経痛と、炎症、腫瘍、外傷など原因が明らかな症候性の神経痛があります。帯状疱疹後の神経痛は症候性の神経痛のひとつです。

神経痛の種類

(1)三叉神経痛

顔面、口内粘膜、歯の感覚を支配している神経で、数秒から1分くらいの発作性の鋭い痛みが繰り返しが起こります。発作と発作の間(間欠期)には無症状です。歯磨きの際に誘発されやすいなど、痛みの発作を誘発する部位があります

(2)後頭神経痛

後頭部神経に痛みがあります。



(3)肋間神経痛

肋骨から沿っての痛みがあります。

原因は多種多様で、個人の判断ではなかなか分かりません。

帯状疱疹後にみられることやストレスなどが原因で起こる事があります。

(4)坐骨神経痛

大腿背面から下腿、足背部などに痛みがみられます。椎間板ヘルニア、腰椎症による神経の圧迫により生じることもあります。

腰痛と関連して頻繁にみられます。

(5)舌咽神経痛

舌根、口蓋扁桃、咽頭側壁などの神経痛です。

嚥下、会話、咳などで誘発されることがあります。

三叉神経痛に比べるとまれです。



神経痛の診断

- ①痛む部位がある特定の一つの神経の領域内に集中して起こること、
- ②突発的な鋭い痛みや痛む時間が短いこと(数秒から数分)、
- ③圧痛点とよばれる痛みを誘発する箇所が痛みが起こる神経の支配領域に認められること …… などで他の病気と区別されます。

神経痛の治療

神経痛の治療には薬物療法、神経ブロック、外科療法があります。

薬物療法が基本になります。

薬物療法があまり有効でない場合には神経ブロック療法や外科療法を考慮します。